

Since 2013

## 現代システム科学域 全6回 連続セミナー2021

# 持続可能な現代社会の創造に向けて

現代システム科学域では、現代社会の問題を俯瞰的に捉え、持続可能（サステイナブル）な社会を創るための教育・研究を、3つの学類（知識情報システム、環境システム、マネジメント）の観点から取り組んでいます。

今年度は、本学域の各学類の教員に加え、同じ理念で教育・研究を行っている地域保健学域教育福祉学類の教員が、大学における教育・研究の内容を分かりやすく講演します。また、11月の特別回では、本学学生の環境への取り組みを紹介します。

## 大阪府立大学の学びを体験！



どなたでも受講できます。  
一緒に学びませんか。



新型コロナウイルス感染拡大防止や災害等で対面でのセミナーが中止になる場合があります。

その場合は動画を配信予定（無料）です。

詳細はホームページでご案内します。



お申込みもこちらから



マスクの着用・入館時の検温  
お願いしています。

### 受講者募集!

申込  
締切  
6/21

受講料

お申込は全回一括のみ  
※お支払いは毎回受講時  
**1講座: 500円**  
特別回無料(高校生以下全て無料)

場所

大阪府立大学I-siteなんば  
大阪市浪速区敷津東2-1-41 南海なんば第一ビル2F  
(特別回は大阪府立大学  
中百舌鳥キャンパスで開催)

日程  
▶ 7/3(土)▶11/3(水)  
時間は14:00~15:30  
(受付13:30~)

第1回 7/3(土) 環境システム学類  
西尾 純二  
言葉遣いに見る時代・社会・文化:  
話し相手と私という小さな現代社会

第2回 7/17(土) マネジメント学類  
新井 康平  
サステイナブルな経営のための  
エビデンス・ベース・マネジメント

第3回 9/4(土) マネジメント学類  
酒井 貴子  
経済のデジタル化と課税問題

第4回 9/18(土) 環境システム学類  
総田 純次  
職場のメンタルヘルス

第5回 10/2(土) 知識情報システム学類  
青木 茂樹  
情報セキュリティ  
—情報システムのサステイナビリティ—

第6回 10/16(土) 教育福祉学類  
吉田 直哉  
最新の社会理論で読み解く  
「少子化」という新文明

特別回 11/3(水) E~きゃんぱすの会、  
環境部エコロ助、  
里環境の会 OPU、  
ひと☆ねこ  
大阪府立大学における  
学生環境団体の活動

**第1回** 言葉遣いに見る時代・社会・文化：  
話し相手と私という小さな現代社会  
7/3(土) 14:00~15:30  
環境システム学類 西尾 純二 教授



自分の意思で選んだかに見えるちょっとした「言葉遣い」は、もしかしたら時代・社会・文化の影響を受けているかもしれません。日本語研究の中には、その様子を捉えようとする分野があります。具体的な社会調査データに基づいて、その研究の動向を紹介し、発したことばの端々に、その人の世代や生活形態、地理的・歴史的環境が反映しているとしたら、違和感を覚える他人の言葉遣いの多様性をどう評価すればいいでしょうか。コミュニケーションの相手と私という、小さな、しかし最も基本的な現代社会空間の持続可能性を考えてみましょう。

**第3回** 経済のデジタル化と課税問題  
9/4(土) 14:00~15:30  
マネジメント学類 酒井 貴子 教授



グローバル社会と情報通信技術 (ICT) の発達を背景として、いわゆるGAFAMと称される巨大プラットフォーム企業による租税回避問題と、それに対する対処策としてのデジタル課税案がここ数年様々に報道されています。租税法の分野では、これは主に法人所得への国際課税問題ではありますが、新しい課税権や課税方法の登場という新展開も検討されています。本セミナーでは、国際租税法を扱った学部での授業内容を、近年の話題や議論も盛り込みお話しします。

**第5回** 情報セキュリティ  
—情報システムのサステナビリティ—  
10/2(土) 14:00~15:30  
知識情報システム学類 青木 茂樹 准教授



近年のインターネットの爆発的な普及に伴って、インターネットバンキング、ネットショッピング、ソーシャル・ネットワークワーキング・サービスなどの情報システムが開発・運用され、社会生活は非常に便利になりました。一方で、マルウェアの感染、情報漏えい、個人情報の流出などの情報セキュリティに関する問題が多数起こっています。インターネットや情報システムを安心安全に持続可能な状態で利用するためには、情報セキュリティに関する知識が必要不可欠です。本講座では、情報セキュリティ事故等の概略を紹介するとともに、家庭でもできる情報セキュリティ対策の基礎について概説します。

**第2回** サステナブルな経営のための  
エビデンス・ベース・マネジメント  
7/17(土) 14:00~15:30  
マネジメント学類 新井 康平 准教授



コロナの問題に限らず、医療の有効性について「エビデンス」という言葉が日常的に用いられることが増えてきました。そして、近年、エビデンスという概念は政策や経営にも導入され始めています。この講義では、企業経営の継続性を確保するために、どのようにエビデンスを活かしていけばよいかを議論します。講義内では、経営管理の歴史を概観し、このエビデンスという考え方についての導入を行います。

**第4回** 職場のメンタルヘルス  
9/18(土) 14:00~15:30  
環境システム学類 総田 純次 教授



企業のメンタルヘルス産業医や労災委員の経験を踏まえ、大企業での経験ではあるが、会社でどのようなメンタルヘルス対策の仕組みがあるか、また社員としてはどのようなルートで支援を求めることができるかなどを解説したい。時間があれば、精神障害での労災認定の仕組みや障害者雇用などの制度についても触れようと思います。

**第6回** 最新の社会理論で読み解く  
「少子化」という新文明  
10/16(土) 14:00~15:30  
教育福祉学類 吉田 直哉 准教授



現在までの「少子化」論は、子育て世代のライフスタイルの変化、家族観の変容、労働市場の転換など、社会科学の諸分野から多様にアプローチされてきました。それらのアプローチが需要・受容されたのは、「少子化」を「止めるべきもの」として認識するという共通理解があったからです。本講演では、「少子化」を単なる社会現象としてみるのではなく、現在生起している文明の転換点の象徴として捉え直したい。1990年代以降提示された重要な社会理論を参照しながら、少子化社会を「新しい文明」として位置付け直し、少子化社会を生きるといふことの意味を、共に再考してみよう。

**特別回11/3(水・祝)**

参加無料 14:00~15:30

(特別回のみ大阪府立大学中百舌鳥キャンパスで開催)

大阪府立大学における  
学生環境団体の活動

講演者は、E〜きゃんぱすの会 (環境報告書※作成学生委員会)、環境部エコロ助、里環境の会 OPU、ひと☆ねこ を予定。 ※本学の環境面における社会的責任 (USR) に関する活動の成果を取りまとめたものです。

応募は「ホームページ」から、または「E-mail」で  
全6回一括 (特別回含む) のみの応募となります。

ホームページからご応募

便利なQRコードはこちら→



<https://www.3s-seminar.osakafu-u.ac.jp>

E-mail でご応募

[3s-sem2021@ml.osakafu-u.ac.jp](mailto:3s-sem2021@ml.osakafu-u.ac.jp)

件名を「現代システム科学域連続セミナー」とし、

①氏名(ふりがな)②年齢③郵便番号・住所④電話番号(日中連絡のつくもの)をご記入ください。

問合せ: ☎072-254-7361 (現代システム科学域支援室)

※お申込みの際の個人情報は、応募後の事務連絡、統計資料作成及び本学公開講座等の案内以外は一切使用いたしません。

申込締切6/21(月)

結果は6月22日発送予定

定員80名

応募者多数の場合は抽選

※お申込み受付完了の連絡はいたしません。応募結果が発送予定日から1週間経っても届かない場合は、下記までお問合せください。



I-site なんばアクセス: 南海電鉄なんば駅、南へ約 800m、徒歩約 12 分 / 地下鉄御堂筋線なんば駅 5 号出口、南へ約 1,000m、徒歩約 15 分 / 地下鉄御堂筋線・四つ橋線大國町駅 1 番出口、東へ約 450m、徒歩約 7 分 / 地下鉄堺筋線恵美須町駅 1-B 出口、西へ約 450m、徒歩約 7 分 / 南海電鉄高野線今宮戎駅、北へ 420m、徒歩約 6 分 ※大阪府立大学の専用入口からお入りください。